

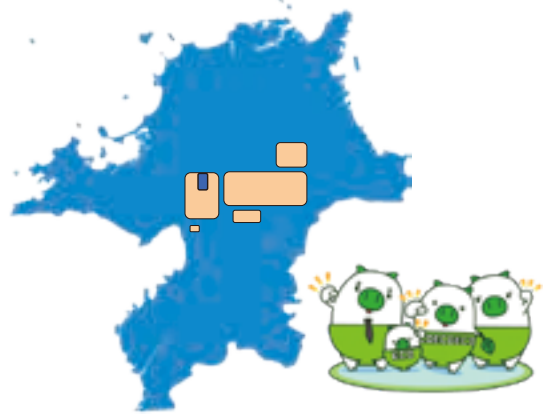
第 1 部

総 説

第1章 福岡県のすがた

1 地勢・気候

福岡県は、筑前海、豊前海、有明海の3つの海に面し、三郡山地、脊振山地、英彦山地、耳納山地等の山地と、その間を流れる遠賀川、筑後川、矢部川、山国川等の河川、河川の流域に開けた肥沃な平野など自然に恵まれた地域です。県土面積は約4,980km²で、全国の総面積の1.3%を占めています。森林面積は約2,220km²で、人工林の割合が高い(約7割)のが特徴です。森林以外にも平尾台に広がるネザサ・ススキ草原などの貴重な半自然的植生があります。



英彦山地など山地の自然林や、有明海、豊前海、博多湾の干潟等では、哺乳類、鳥類、昆虫類、甲殻類など多くの種群にとって重要な生息地となっています。また、九州の最北部に位置し、大陸にも近いという地理的条件から、渡り鳥の中継地としても重要な役割を果たしています。

福岡県の気候は、年間を通すと、温暖的要素が強いと言えます。一方で日本海側に位置する福岡、北九州地方は冬季には大陸からの寒気の影響を受け、日本海型気候区の特徴を示しています。筑後平野を中心とする内陸平野部は、三方を山に囲まれており、内陸型気候の特徴を示し、筑豊盆地は、気温の日較差や年較差が大きく、盆地特有の気候を示しています。降水量は、沿岸部の一部を除いておおむね1,600mm以上あります。

2 社会・人口・経済

福岡県には、北九州市・福岡市の両政令市を含め28市、30町、2村があります(平成25年11月1日現在)。これらの60市町村は、地理的、歴史的、経済的、社会的特性などから、大きく、北九州、福岡、筑後及び筑豊の4地域に分けられます。

5年ごとに行われる国勢調査の結果によると、福岡県の総人口は増加傾向にあり、平成22年の本県の総人口は507.2万人(京都議定書の基準年である平成2年の481.1万人と比べて約5.4%増加)で、全国の総人口(1億2,805.7万人)の約4.0%を占め、全国47都道府県中第9位となっています。1km²当たりの人口密度は1,019人で、全国の人口密度343.4人の約3.0倍となっており、全国で7番目となっています。

平成22年度の県内総生産は、名目18兆419億円(全国比約3.6%、全国順位9番目)でした。また、県内総生産(名目)を各産業別にみると、第1次産業は1,372億円(総生産の0.8%)、第2次産業は3兆8,151億円(同21.1%)、第3次産業は13兆9,890億円(同77.5%)と、第3次産業の割合が最も高くなっています。